



もろみ酢試飲でPR 沖国大生がアンケート

9月3日のもろみ酢の日に合わせて、もろみ酢公正取引協議会(会長・松田亮へリオス酒造社長)と琉球もろみ酢事業協同組合(松田理事長)は、那覇市のわしたショップ国際通り本店で試飲会を開いた。

試飲会では新商品開発に向けた「もろみ酢マーケティングプロジェクト」と題し、沖縄

.....
 沖国大の学生がリンゴジュースなどを加えたもろみ酢を配布し、感想を聞き取りした。那覇市、わしたショップ国際通り本店前

国際大学の学生がリンゴやシークワーサーのジュースをブレンドしたもろみ酢を配り、アンケートを行った。

プロジェクトを企画したのは同大企業システム科の宮森正樹教授のゼミで学ぶ同大2年の吉田愛さん、八木玲那さん、村上賢之介さん、屋宜健二さん。リーダーの吉田さんは「沖縄特産のもろみ酢だが、若い世代にはなじみがない。消費者の意見を業界に提供し、新商品開発につなげてもらえたら」と話していた。

もろみ酢試飲会開催

沖国大ゼミ 消費拡大へ調査

沖縄国際大学の宮森正樹 ともみ酢の日」の3日、那
ゼミの学生ら4人は「琉球 覇市のわしたシヨップ国際



琉球もろみ酢のおいしい飲み方を研究する沖縄国際大学のもろみ酢マーケティング調査班3日、那覇市のわしたシヨップ国際通り店

通り店でもろみ酢の試飲会を開催した。3年の吉田愛さんを中心とするもろみ酢マーケティング調査班は、学内で実施した試飲調査結果を基に、リングゴとシークワーサーで割ったもろみ酢を観光客に提供し、好き嫌いを聞き取り調査した。

調査班は「琉球もろみ酢の消費は9割が県外」という現状を知り、県内消費拡大へ新しい飲み方を研究した。もろみ酢を割るのに適した12種類の飲料をゼミ内で試飲し、最も飲みやすかったリングゴとシークワーサーを選んだ。

試飲した観光客は、吉田さんが提案する飲み方が「あり」か「なし」かでアンケートに回答した。10月に開催される「沖縄の産業まつり」にも参加を予定している。